

チームエッフェガーラ

津村 知明

レースレポート

2010年4月18日

SL SUGOシリーズ' 第2戦

SSクラス(参加20台)

SUGO国際 西コース

フレーム :birel RX31SE

エンジン :YAMAHA KT100SD

タイヤ :BS SL07

エンジニア:加藤 真(レーシングサービス エッフェガーラ)

押しかけ:平賀 勇輝(チーム エッフェガーラ)

◆レース結果

TT 1 4位 (53.489)

予選 1 4位 (48.916)

決勝 5位 (44.739)

◆シリーズランキング

8位 (8ポイント)

レース前日

ありえない大雪に見舞われた SUGO第2戦 前日。
東北道が一時通行止めになり、のべ12時間もかけて到着するA選手の姿も。。
本当にお疲れ様でした。
コースは完全に雪に埋まって走行できず。明日のレースどうなるんだろうか・・・
そんな心配をしつつ、雪遊びを存分に楽しみました^^



スタッフさんの頑張りで、レースは無事開催！！

大部分の雪は排除され、レースは無事開催されました。
しかし、雪溶け水による川がいたる所に発生しレースを大きく左右する事になります。
中でも、7コーナー手前の水溜りは最後まで無くなりず、
足元をすくわれコースアウトする選手が続出。

あっ！！また一台。。。レース中は、こういう場面に何度も遭遇しました。
まさにサバイバルレースです。

次第に、路面の大部分は完全ドライになるが、コーナー手前には川があるため、
なかなかドライタイヤには踏み切れず、ほとんどの選手が予選までレインを装着。
自分も 予選まではレイン、決勝ドライというタイヤ選択。

全員がぶっつけ本番

めまぐるしく変わるコースコンディションに
いち早く対応できた者が勝利を掴む。そんなレースだったように思います。

TTでは、遅いカートにつかまり実力が出せず14番手に沈み、
続く予選も、一時7番手まで浮上するも、5コーナーで足元をすくわれコースアウト。
雪の餌食となり下位に沈む。

SUGOまでやって来て、オレは一体何をしているんだ・・・
午前中の自分の振る舞いに腹が立ち メシも食う気になれませんでした。

どこか冷静になれない自分がいた。
そう気付いて とにかく冷静にレースを進めようとして挑んだ決勝。
スタートこそ出遅れたものの、その後は冷静に1台ずつパスしていき 5番手まで浮上
しかし、前をいく4番手には既に大差を付けられており最後は単独走行してチェッカー



レースを終えて

応援、手伝いをして下さった方々、本当にありがとう御座いました。
いろいろな経験ができたSUGO遠征でしたが、やはり一貫して言える課題はメンタル面の至らなさと状況把握の速さです。
まだまだ納得できる状態には至っていませんが、一歩ずつ前進はしています。
今回の経験を生かして 次回 4/25 IMPも頑張ろうと思います。応援よろしくお願いします。